



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年10月29日

上場会社名 株式会社ヒガシトウエンティワン 上場取引所 東
 コード番号 9029 URL <http://www.e-higashi.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）金森 滋美
 問合せ先責任者（役職名）取締役常務執行役員（氏名）畠 秀一（TEL）06-6945-5611（代表）
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成28年3月期第2四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	8,728	2.1	441	28.0	451	24.5	294	38.1
27年3月期第2四半期	8,551	3.7	345	14.2	362	14.2	213	19.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第2四半期	25.19		—					
27年3月期第2四半期	18.55		—					

（注）平成27年3月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い1株当たり当期純利益の金額は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	10,832	6,875	63.5
27年3月期	10,936	6,094	55.7

（参考）自己資本 28年3月期第2四半期 6,875百万円 27年3月期 6,094百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	8.50	8.50
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期（予想）	—	—	—	8.50	8.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,789	6.6	602	△13.1	612	△15.5	396	10.5	34.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	13,094,700株	27年3月期	11,500,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	506株	27年3月期	506株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	11,691,409株	27年3月期2Q	11,499,504株
----------	-------------	----------	-------------

(注)平成27年3月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「発行済み株式数(普通株式)」を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融支援等を背景に、企業収益や雇用環境の改善傾向が続き、緩やかな回復基調で推移しております。しかしながら、中国経済の減速による株式市場の下落、米国利上げ観測等、世界経済の減速懸念が広がるなか、わが国経済の先行きに対しても不透明な状況が続いております。

物流業界においては、人件費の上昇、価格競争の激化等依然として厳しい状態が続いております。

このような状況の中、当社は新規荷主の開拓や、既存荷主への深耕拡大に努めるとともに、内部管理体制の一層の充実やコスト削減努力並びに安全対策にも注力してまいりました。

当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は87億28百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益は4億41百万円(同28.0%増)、経常利益は4億51百万円(同24.5%増)、四半期純利益は2億94百万円(同38.1%増)となりました。

セグメントの業績は以下の通りです。なお、当第1四半期累計期間より、報告セグメントの区分を変更したことにより、対前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。新たな報告セグメント区分は「運送事業」、「倉庫事業」、「商品販売事業」、「ウエルフェア事業」、「その他」の5つとなります。

従来、当社では提供するサービスの特性から、「運送事業」、「倉庫事業」、「商品販売事業」、「その他」の4つを報告セグメントとしておりました。

前期末から当第1四半期累計期間にかけて、福祉用具に関する販売、レンタル、運送を主たる業務とするウエルフェア事業の新規人材採用や拠点新設投資を本格化し、当社の提供する重要なサービスとして位置づけました。

これに伴い、従来「運送事業」、「商品販売事業」、「その他」に含めていた「ウエルフェア事業」を区分することと致しました。

① 運送事業

当事業につきましては、売上高は62億3百万円(前年同期比4.2%増)となり、セグメント利益は6億31百万円(同43.0%増)となりました。これは大型の事務所移転作業によるものです。

② 倉庫事業

当事業につきましては、売上高は15億48百万円(前年同期比0.3%減)となり、セグメント利益は2億66百万円(同3.4%減)となりました。

③ 商品販売事業

当事業につきましては、売上高4億2百万円(前年同期比14.7%減)となりましたが、セグメント利益は15百万円(同12.3%増)となりました。これは中古PC販売が減少したことによるものです。

④ ウエルフェア事業

当事業につきましては、売上高2億64百万円(前年同期比11.1%増)となり、セグメント利益は4百万円(同40.7%増)となりました。これは新拠点開設に伴い売上高が増加したことによるものです。

⑤ その他

当事業につきましては、売上高3億9百万円(前年同期比8.0%減)となり、セグメント利益は11百万円(同18.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は108億32百万円となり、前事業年度末に比べ1億3百万円減少いたしました。資産の主要科目の増減は、現金及び預金が増資等により8億83百万円増加し、営業未収入金が回収により9億4百万円減少いたしました。

また、負債は39億57百万円となり、前事業年度末に比べ8億85百万円減少いたしました。負債の主要科目の増減は、営業未払金の支払いにより7億63百万円減少いたしました。

純資産は資本金の増加等により前事業年度末に比べ7億81百万円増加して68億75百万円となり、自己資本比率は7.8ポイント増加し63.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動により得られた資金が5億58百万円あり、投資活動により使用した資金が19百万円、財務活動により得られた資金が3億50百万円となりました。その結果、当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は20億75百万円(前年同期比66.3%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、5億58百万円(前年同期は4億8百万円)となりました。これは主に税引前四半期純利益4億56百万円、減価償却費1億17百万円、売上債権の回収9億36百万円と、仕入債務の支払による減少額7億65百万円の増減によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、19百万円(前年同期は58百万円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、3億50百万円(前年同期は1億93百万円の支出)となりました。これは主に増資による収入5億80百万円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、平成27年5月14日発表の通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,338,889	2,222,556
受取手形	360,758	330,052
営業未収入金	2,737,112	1,832,382
商品	4,615	5,551
その他	239,284	280,428
貸倒引当金	△3,108	△2,189
流動資産合計	4,677,551	4,668,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,424,485	2,356,393
機械装置及び運搬具(純額)	106,373	99,445
土地	2,713,547	2,713,547
その他(純額)	56,849	58,644
有形固定資産合計	5,301,255	5,228,031
無形固定資産	99,811	91,470
投資その他の資産		
投資有価証券	142,992	117,219
差入保証金	605,702	618,905
前払年金費用	48,616	54,153
その他	116,419	109,736
貸倒引当金	△55,995	△55,326
投資その他の資産合計	857,736	844,687
固定資産合計	6,258,803	6,164,189
資産合計	10,936,354	10,832,971
負債の部		
流動負債		
営業未払金	1,703,839	940,165
短期借入金	1,240,000	1,280,000
1年内返済予定の長期借入金	308,096	271,596
未払法人税等	115,669	177,780
賞与引当金	166,552	175,139
株主優待引当金	-	5,548
その他	466,921	399,631
流動負債合計	4,001,079	3,249,860
固定負債		
長期借入金	494,601	358,803
役員退職慰労引当金	70,180	79,730
その他	276,278	268,723
固定負債合計	841,059	707,256
負債合計	4,842,138	3,957,117
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,150	927,016
資本剰余金	95,950	95,950
利益剰余金	5,628,835	5,825,617
自己株式	△116	△116

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
株主資本合計	6,057,819	6,848,467
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36,396	27,387
評価・換算差額等合計	36,396	27,387
純資産合計	6,094,215	6,875,854
負債純資産合計	10,936,354	10,832,971

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	8,551,950	8,728,367
売上原価	7,100,278	7,044,939
売上総利益	1,451,671	1,683,427
販売費及び一般管理費	1,106,557	1,241,594
営業利益	345,114	441,833
営業外収益		
受取賃貸料	18,666	18,666
その他	16,712	17,918
営業外収益合計	35,378	36,584
営業外費用		
支払利息	11,824	8,258
賃貸費用	5,547	5,273
株式交付費	-	12,907
その他	162	100
営業外費用合計	17,534	26,540
経常利益	362,958	451,876
特別利益		
投資有価証券売却益	-	6,096
特別利益合計	-	6,096
特別損失		
固定資産除却損	352	683
投資有価証券売却損	-	477
投資有価証券評価損	188	-
減損損失	9,252	-
特別損失合計	9,794	1,161
税引前四半期純利益	353,164	456,812
法人税等	139,853	162,285
四半期純利益	213,311	294,527

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	(単位:千円)	
	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	353,164	456,812
減価償却費	110,057	117,630
売上債権の増減額(△は増加)	839,944	936,621
仕入債務の増減額(△は減少)	△712,378	△765,087
その他	△2,885	△75,297
小計	587,902	670,679
利息及び配当金の受取額	3,571	3,551
利息の支払額	△12,108	△8,261
法人税等の支払額	△170,831	△107,473
営業活動によるキャッシュ・フロー	408,534	558,497
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△90,500	△81,000
定期預金の払戻による収入	153,000	87,000
有形固定資産の取得による支出	△31,451	△26,469
その他	27,658	720
投資活動によるキャッシュ・フロー	58,706	△19,748
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	106,000	40,000
長期借入金の返済による支出	△201,340	△172,298
株式の発行による収入	-	580,958
その他	△97,736	△97,742
財務活動によるキャッシュ・フロー	△193,076	350,918
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	274,164	889,667
現金及び現金同等物の期首残高	974,093	1,186,289
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,248,257	2,075,956

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

当社は、平成27年9月8日を払込期日とする公募増資により普通株式1,400,000株、及び同年9月16日を払込期日とする第三者割当により194,700株を発行致しました。

この結果、当第2四半期累計期間において資本金が593,866千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が927,016千円となっております。